

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 アツギ株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3529 URL <http://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤本 義治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 根本 達彦

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

TEL 046-235-8107

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	18,285	△5.0	1,784	△10.9	1,652	△10.7	851	△50.8
21年3月期第3四半期	19,257	—	2,003	—	1,851	—	1,730	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	4.63	—
21年3月期第3四半期	9.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	53,353	43,809	81.9	237.68
21年3月期	52,418	43,105	82.0	233.76

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 43,699百万円 21年3月期 42,994百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,120	△2.4	2,170	△1.0	1,950	△10.4	1,560	19.9	8.48

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他 をご覧下さい。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	208,195,689株	21年3月期	208,195,689株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	24,333,697株	21年3月期	24,273,780株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	183,881,288株	21年3月期第3四半期	183,539,786株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産や輸出の持ち直しなどで一部に景気回復の兆しが見られましたが、厳しい雇用および所得環境が続く中で個人消費の低迷は続き、依然として景気は先行き不透明な状況が続いております。

繊維業界においても、消費マインドの冷え込みや、デフレの進行による消費者の低価格志向により、長期にわたる個人消費の低迷が続き、厳しい経営環境が続いております。

このような状況において、当社グループは、原料加工から最終製品までを一貫生産し販売する専門メーカーとしての特長を活かし、市場のニーズに対応した差別化商品の企画開発を進めてまいりました。また、グループ全社を挙げて効率性アップに取り組み、収益改善に努めておりますが、長引く個人消費の低迷の影響を受け、厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,285百万円(前年同期比5.0%減)となり、コストダウンや経費削減に努めましたが、営業利益は1,784百万円(前年同期比10.9%減)、経常利益は1,652百万円(前年同期比10.7%減)となりました。収益改善を目的とした国内工場の再編による事業再編損失および投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は851百万円(前年同期比50.8%減)となりました。

事業の種類別セグメントの状況は、次の通りであります。

〔繊維事業〕

靴下部門は、長引く消費低迷の影響により、全体としては低調に推移しました。その中でも、厚手の柄タイツを始めとしたファッショントレンド商品は好調に推移しましたが、ベーシック商品の低迷をカバーするには至らず、同部門の売上高は14,989百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

インナーウェア部門は、市場では防寒商品の一部に好調な商品群はありましたが、全体として市況は低調に推移し、売上高は2,412百万円(前年同期比9.4%減)となりました。

これらの結果、繊維セグメント全体では売上高17,402百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益は1,437百万円(前年同期比12.7%減)となりました。

〔非繊維事業〕

非繊維事業については、介護用品は引続き順調に推移しましたが、依然として不動産売上が長引く不動産不況の影響を受け、低迷を続けております。その結果、非繊維セグメント全体では売上高883百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益は347百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 連結財政状態

当第3四半期連結会計期間末における総資産は53,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ935百万円増加いたしました。主な増減内容は、現預金の増加964百万円、売上債権の増加780百万円、たな卸資産の減少415百万円、有形固定資産の減少895百万円、株式の市場価格の上昇により時価が回復したことによる投資有価証券の増加602百万円等によるものであります。

負債の部は、9,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円増加いたしました。時価評価による通貨オプションの増加509百万円、退職給付引当金の減少135百万円、賞与引当金の減少135百万円等によるものであります。

純資産の部は、43,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ704百万円増加いたしました。四半期純利益を851百万円計上しましたが、前期決算に係る配当金551百万円等により、利益剰余金合計では299百万円の増加となり、その他有価証券評価差額金および繰延ヘッジ損益の増減等により、評価・換算差額等が413百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、81.9%(前連結会計年度末は82.0%)となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 908 百万円の計上と、減価償却費 896 百万円、たな卸資産の減少 372 百万円、株式評価損 555 百万円の計上等による増加がありましたが、売上債権の増加 788 百万円による減少等により差引 1,914 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得により、252 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより、551 百万円の支出となりました。

この結果、当第 3 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 1,064 百万円増加し、8,757 百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、依然として不透明な経済情勢の中で、個人消費の低迷が続くものと予想され、当社グループを取巻く環境は引き続き厳しい状況で推移していくものと予想されます。このような状況の中で、市場のニーズを的確に察知し、好調を続けているファッショントレンド商品の売上拡大に注力するとともに、これまで以上の経営の効率化、合理化を進め、目標の達成に全力を挙げて取り組んでまいります。

当第 3 四半期連結会計期間で投資有価証券評価損を特別損失に計上したことで、通期業績予想との乖離が発生していますが、損失額は今後の株式市場の動向により大きく変動する可能性があり、予測は困難であることから、当第3四半期連結会計期間において通期業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,757	7,793
受取手形及び売掛金	4,517	3,737
商品及び製品	3,453	3,486
仕掛品	1,746	2,034
原材料及び貯蔵品	513	607
繰延税金資産	340	336
その他	257	273
貸倒引当金	△42	△36
流動資産合計	19,543	18,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,198	6,496
機械装置及び運搬具（純額）	3,391	4,051
工具、器具及び備品（純額）	128	133
土地	17,299	17,299
建設仮勘定	234	167
有形固定資産合計	27,251	28,147
無形固定資産		
	489	546
投資その他の資産		
投資有価証券	5,411	4,809
その他	657	688
貸倒引当金	△0	△6
投資その他の資産合計	6,067	5,490
固定資産合計	33,809	34,184
資産合計	53,353	52,418

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,328	2,401
未払法人税等	56	93
賞与引当金	43	179
その他	2,467	1,807
流動負債合計	4,895	4,481
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,460	2,460
退職給付引当金	1,526	1,661
その他	661	709
固定負債合計	4,647	4,830
負債合計	9,543	9,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	11,389	11,389
利益剰余金	6,538	6,238
自己株式	△2,408	△2,400
株主資本合計	47,225	46,933
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△475	△1,575
繰延ヘッジ損益	△1,085	△575
土地再評価差額金	△1,680	△1,680
為替換算調整勘定	△285	△107
評価・換算差額等合計	△3,526	△3,939
少数株主持分	109	111
純資産合計	43,809	43,105
負債純資産合計	53,353	52,418

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	19,257	18,285
売上原価	11,836	11,252
売上総利益	7,420	7,032
販売費及び一般管理費	5,417	5,248
営業利益	2,003	1,784
営業外収益		
受取利息及び配当金	145	118
持分法による投資利益	29	18
その他	46	66
営業外収益合計	221	203
営業外費用		
租税公課	20	23
為替差損	308	272
その他	44	40
営業外費用合計	373	335
経常利益	1,851	1,652
特別利益		
固定資産売却益	41	—
投資有価証券売却益	—	13
その他	6	—
特別利益合計	48	13
特別損失		
固定資産除却損	5	5
投資有価証券評価損	73	555
事業再編損	—	196
特別損失合計	78	757
税金等調整前四半期純利益	1,821	908
法人税、住民税及び事業税	50	53
法人税等調整額	22	△3
法人税等合計	73	50
少数株主利益	16	5
四半期純利益	1,730	851

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,821	908
減価償却費	1,003	896
のれん償却額	—	35
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△236	△134
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△139	△135
受取利息及び受取配当金	△145	△118
持分法による投資損益 (△は益)	△29	△18
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6	△13
投資有価証券評価損益 (△は益)	73	555
有形固定資産売却損益 (△は益)	△41	—
有形固定資産除却損	5	5
売上債権の増減額 (△は増加)	△911	△788
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△210	372
仕入債務の増減額 (△は減少)	280	△29
未払消費税等の増減額 (△は減少)	28	63
事業再編損失	—	177
その他	△5	38
小計	1,488	1,814
利息及び配当金の受取額	128	123
法人税等の支払額	△45	△61
法人税等の還付額	—	37
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,571	1,914
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100
有形固定資産の取得による支出	△677	△302
有形固定資産の売却による収入	170	—
無形固定資産の取得による支出	△45	△5
投資有価証券の取得による支出	△380	△575
投資有価証券の売却による収入	64	530
投資活動によるキャッシュ・フロー	△868	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△545	△544
自己株式の増減額 (△は増加)	△19	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△565	△551
現金及び現金同等物に係る換算差額	△144	△45
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7	1,064
現金及び現金同等物の期首残高	7,087	7,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,080	8,757

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日 ～ 平成20年12月31日）

(単位:百万円)

	繊維事業	非繊維事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,315	942	19,257	—	19,257
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	(2)	—
計	18,318	942	19,260	(2)	19,257
営業利益	1,645	357	2,003	(0)	2,003

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 事業の内容

- (1) 繊維事業……靴下及びインナーウェア等の製造及び販売
(2) 非繊維事業……不動産の販売及び賃貸、介護用品の製造及び販売

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日 ～ 平成21年12月31日）

(単位:百万円)

	繊維事業	非繊維事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,402	883	18,285	—	18,285
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	1	(1)	—
計	17,403	883	18,286	(1)	18,285
営業利益	1,437	347	1,784	(0)	1,784

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 事業の内容

- (1) 繊維事業……靴下及びインナーウェア等の製造及び販売
(2) 非繊維事業……不動産の販売及び賃貸、介護用品の製造及び販売

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

(単位:百万円)

	日本	中国	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	18,964	293	19,257	—	19,257
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	232	2,693	2,926	(2,926)	—
計	19,197	2,986	22,183	(2,926)	19,257
営業利益	2,112	171	2,284	(280)	2,003

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

(単位:百万円)

	日本	中国	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,869	416	18,285	—	18,285
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	258	2,881	3,139	(3,139)	—
計	18,127	3,297	21,425	(3,139)	18,285
営業利益	1,888	200	2,089	(305)	1,784

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。